

シーズ技術名
アサリ資源保護網

漁業者及び海洋にやさしいアサリ資源保護網

アサリ資源を守るために生分解性被覆網

技術分野分類 5402：高分子・繊維材料

技術キーワード 繊維材料、高分子・繊維加工

産業分類 E-11：繊維工業

内 容	概要	アサリ資源を稚貝の食害や風波による流出から守るために、アサリが生息する干潟の表面を網で覆う被覆網という方法が行われている。県内企業と愛知県水産試験場では、天然繊維製ネットにパラフィンをコーティングした生分解材料を用いた被覆網を試作し、漁場に設置し試験している。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	一般に被覆網に使用されているプラスチック製の網は海水中で分解しないため、使用後の撤去処理の負担や環境への影響が問題となる。生分解材料を用いることで、撤去の労力を低減するとともに環境負荷に配慮されている。
	本技術の有用性	三河繊維技術センターでは、漁場で試験したネットの耐久性を評価し、天然繊維にパラフィンをコーティングすることで、分解を遅らせることができることを確認している。現在、企業では漁場での維持管理や撤去等に対する労力が低減可能なアサリ稚貝保護ネットの製品化を進めている。
関連情報 (図・表・写真等)		 写真：試作した生分解性被覆網
適用可能製品		水産資材、農業用資材
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	山下 修 ティビーアール株式会社 環境事業部 課長 日比野 学 愛知県水産試験場 漁業生産研究所 主任研究員 佐藤 嘉洋 あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 主任研究員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター 企画連携（総合技術支援・人材育成）担当 0533-59-7146 / 0533-59-7176 mikawa@aichi-inst.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2020年10月1日